

10月3日（火）、福島市のパルセいいざかで開催されました、バリアフリー演劇「Touch～孤独から愛へ～」の観劇に行ってきました。参加者は、中学部3年生と高等部希望生徒あわせて22名でした。

多くの生徒にとって演劇鑑賞は初めてであり、目の前で繰り広げられる役者さんの演技に引き込まれていました。また、映像で観るものとは異なり、声や表情の迫力、身体の動きを間近で感じ、表現することの凄さを体感することができました。

参加した生徒からは、「少し難しい部分もあったが、考えさせられる内容だった」「いろいろな人が楽しめる内容で、舞台も工夫されていた」「手話通訳者が役者として出てくるところが斬新だった」など、舞台を十分に楽しむことができたという感想が多く出されました。

観劇後には、実際に舞台上がり、舞台道具を触ったり、操作や仕組みの説明を劇団員から受けたり、役者さんと話をしたりすることができ、普段関わることがない方たちと触れ合う機会にもなりました。

この体験が、自己表現や秋桜祭ステージ発表などの一助となることに期待しています。

今回の観劇にあたり、素晴らしい舞台を見せてくださった「東京演劇集団『風』」の皆様、主催者の「福島県文化振興財団」、バス料金等を助成してくださった「福島県共同募金」、チケット代を助成してくださった「須賀川支援学校後援会」の皆様のご支援・ご協力をいただきました。おかげさまで、大変貴重な時間を過ごすことができ、心から感謝申し上げます。

